

「錫山プロジェクト」について

鹿児島県内のブロードバンド・ゼロ地域の解消を目途に、鹿児島県が主体となり国、九州広域経済団体、大学、地元ICT企業等の産・学・官の関係者で構成する協議会を設置。

(※構成メンバー参照)

協議会では、離島等の条件不利地域のみならず、市街地周辺にも存在するFTTH、ADSL等の電気通信事業者によるブロードバンドサービスの提供が困難な地域(ブロードバンド・ゼロ地域)へのブロードバンド整備方法として、比較的安価に構築でき、運用コストが低いとされる、無線LAN(IEEE802.11g)を活用した方式(九州モデル※)でのモデル実験を実施することとした。

モデル実験は、鹿児島市内のブロードバンド・ゼロ地域である同市錫山地区に決定し、無線LANによる中継ルートは、鹿児島市谷山支所⇄錦江高原ホテル⇄錫山小中学校⇄錫山校区公民館の総延長約10kmを鹿児島大学、鹿児島県情報サービス産業協会の協力でネットワーク構築した。

併せてブロードバンド・ゼロ地域に発生するデジタルデバイド(情報格差)を解消するため、錫山地区の住民を対象に、ICTリテラシー向上のため、鹿児島大学が「インターネット講座」を実施中。実証実験は、2月4日から3月26日まで実施予定。

協議会では、鹿児島県内の自治体、ICT関係者をはじめ広く周知・啓発を行い、「2010年までにブロードバンド・ゼロ地域解消」を目途に鹿児島県内のブロードバンド整備促進を図ることとしている。

※「九州モデル」…当局、九州経済連合会を中心に産学連携による、九州地域に合った無線LANを活用したブロードバンド整備手法の提案モデル

鹿児島市・錫山地区「九州モデル」推進協議会(「錫山プロジェクト」)

◎構成メンバー(順不同)

九州総合通信局、(社)九州経済連合会、鹿児島大学、(社)鹿児島県情報サービス産業協会、錦江高原ホテル、鹿児島市、鹿児島県 ※事務局は鹿児島県企画部情報政策課

「九州モデル」の特長

- ・免許が不要な無線方式
- ・機器設置が簡単
- ・10Km程度でも伝送速度(10Mbps)が確保可能
- ・比較的安価に構築でき、運用コストも少ない
- ・セキュリティも問題なし

鹿児島市・錫山地区「九州モデル」設置概要図

